

# 令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	生野区
学 校 名	巽東小学校
学校長名	瀬脇 浩

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・小学校では、第6学年 79名

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

教科に関する調査において、国語、算数ともに平均正答率は、平成31年度を上回っている。また、平均無答率についても平成31年度より低くなっており、学力向上の取り組みの成果が表れている。しかしながら、いまだ全国・大阪市の平均正答率を下回っており。さらなる取組の充実が必要である。平均正答率、平均無答率とも算数より国語の方が差は大きい。内容や領域については、国語では特に「読み」「書き」、算数では「図形」の正答率が低くなっている。問題形式では、国語、算数ともに記述式問題の正答率が特に低くなっている。

児童質問紙調査においては、基本的な生活習慣はおおむね身についているが、学習習慣や読書習慣の定着に課題がある。また、全国・大阪市と比較して、家庭でゲームをしたりスマホをする時間が長く、学習時間が短い傾向がみられる。

## 分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕学習指導要領の内容において「知識及び技能」に関する設問については、国や市の平均を下回っているものが多いが、平成31年度と比べると正答率が上がっている。各学年でスキル学習に取り組んだり、放課後学習教室において基礎基本の定着に取り組んだ成果が少しずつ表れている。しかし、「思考力、判断力、表現力等」の正答率については依然として低い。中でも資料を用いた理由を問う設問や文章全体の構成や展開を問う設問、説明文を読んで中心となる語や文を見つけて要約する設問の正答率が特に低い。今年度より研究教科として取り組んでいる、物語文の読みを通した書く力の育成をさらに続け、「読むこと」「書くこと」の力を育んでいく必要がある。

〔算数〕ほとんどの領域において平成31年度より正答率が上がっている。特に「変化と関係」に関する設問については、国や市の平均とほぼ同じ正答率となった。その一方で「図形」については平成31年度より正答率がやや下がっている。求積の立式を間違っている解答が多くみられた。算数科については、習熟度別少人数指導による個に応じた指導を進めるとともに、過去2年間研究教科として主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくりに取り組んできた成果が徐々に表れていると考える。

質問紙調査より

基本的な生活習慣については、テレビやスマホでゲームをする時間が全国平均よりも非常に長くなっており注意が必要である。また、自己有用感が低く、現在学校全体で取り組んでいるポジティブ行動支援により自信をもって前向きに取り組む児童の育成を継続する必要がある。

学習面では、家庭学習を計画的に行うことが課題となっており、家庭と連携した取り組みが必要である。また、教科の学習だけでなく総合的な学習や学級活動などを通して話し合い活動や自ら調べたことを発表し合う活動を多く取り入れ、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるような授業づくりが必要である。国語、算数の学習については、「好き」と答える児童は全国平均よりも低い、「分かる」と答える児童の割合が増加しており、取り組みの成果がうかがえる。

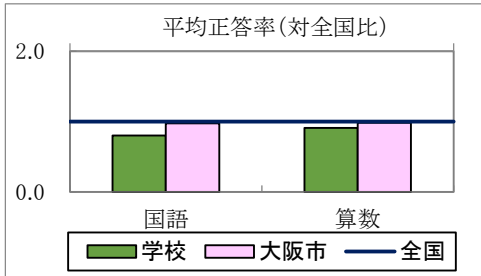
## 今後の取組(アクションプラン)

平成31年度、令和2年度の2年間は算数科、今年度より国語科を研究教科とし、「主体的・対話的で深い学び」を目指し、校内研修会や授業研究会を行ってきた。今後も引き続き教員の授業力の向上に取り組んでいく。また、習熟度別少人数指導やティームティーチング、高学年での一部教科担任制の導入等、授業形態の工夫により個に応じた支援の充実もさらに進めていく。また、昨年度より学校力UPコラボレーターや学力向上サポーター等の協力を得ながら、特に学力面で課題のある児童を対象として実施している放課後学習教室については、今後さらに教材を工夫することで基礎基本の定着に向け取組を進めていく。さらに、タブレットドリルによる基礎基本の定着やインターネットを使った調べ学習、調べたことを伝えるために、図や表を使いながらプレゼンテーションを行ったりするなど、ICT効果的な活用を一層進めていく。

# 【 全体の概要 】

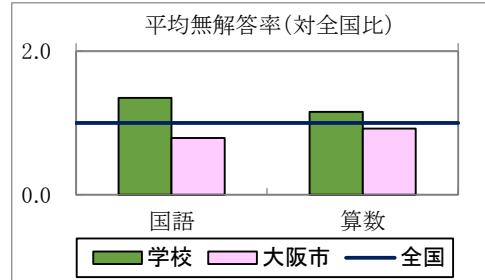
## 平均正答率（％）

	国語	算数
学校	52.0	64.0
大阪市	63.0	69.0
全国	64.7	70.2



## 平均無解答率（％）

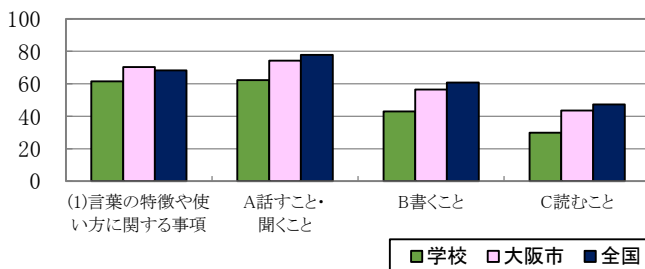
	国語	算数
学校	5.8	3.0
大阪市	3.4	2.4
全国	4.3	2.6



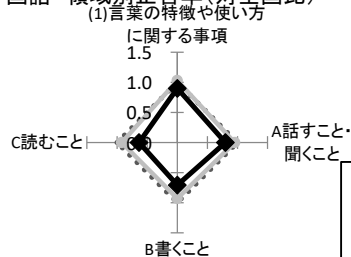
## 【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	6	61.5	70.3	68.3
(2)情報の扱い方 に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0	0.0	0.0	0.0
A 話すこと・聞くこと	3	62.3	74.3	77.8
B 書くこと	2	42.9	56.4	60.7
C 読むこと	3	29.9	43.5	47.2

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



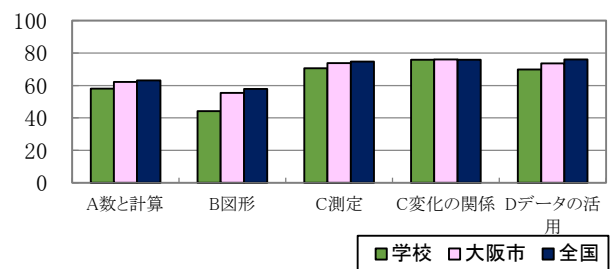
国語 領域別正答率(対全国比)



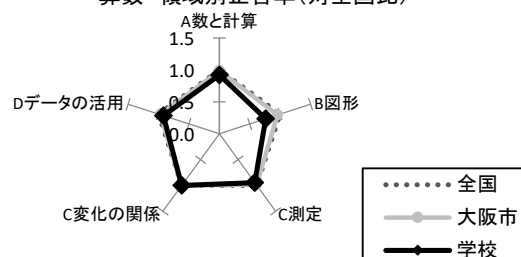
## 【 算 数 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	4	58.1	62.2	63.1
B 図形	3	44.2	55.4	57.9
C 測定	3	70.6	73.8	74.8
C 変化と関係	3	75.8	76.0	75.9
D データの活用	5	69.9	73.6	76.0

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



算数 領域別正答率(対全国比)



# 児童質問紙より

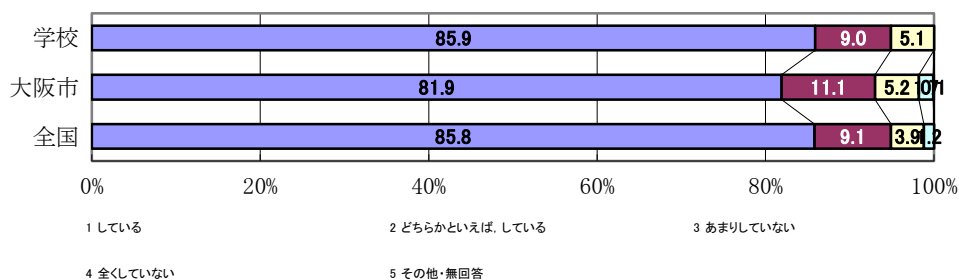
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

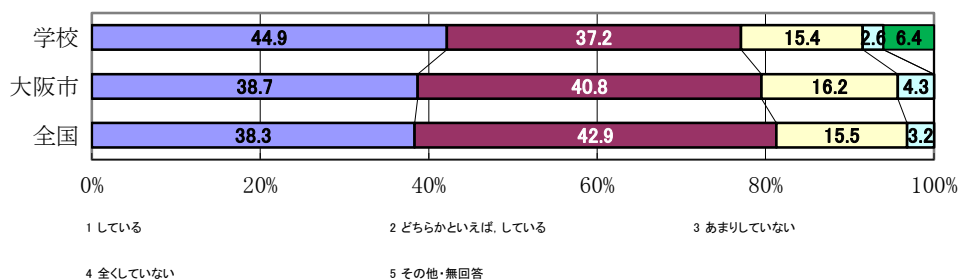
1

朝食を毎日食べていますか



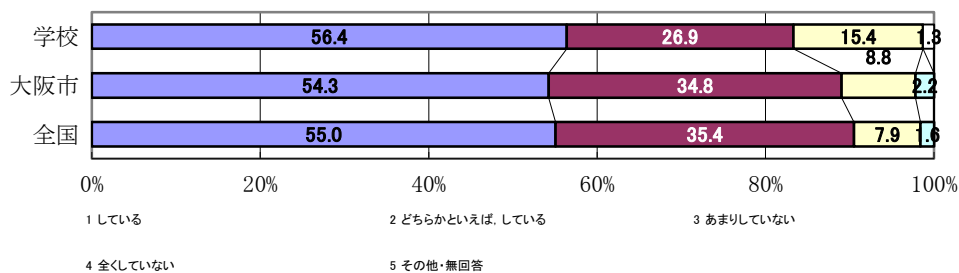
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



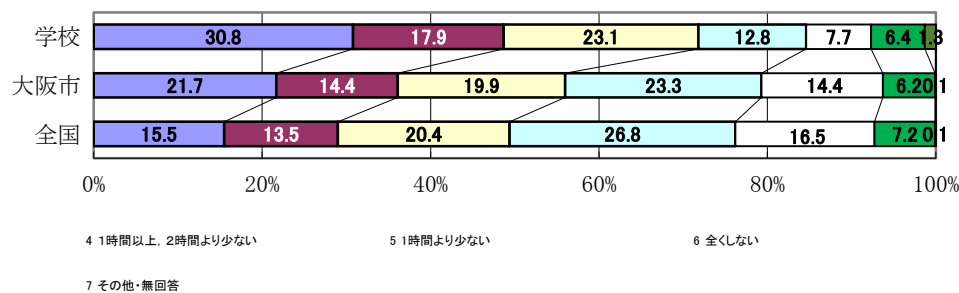
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



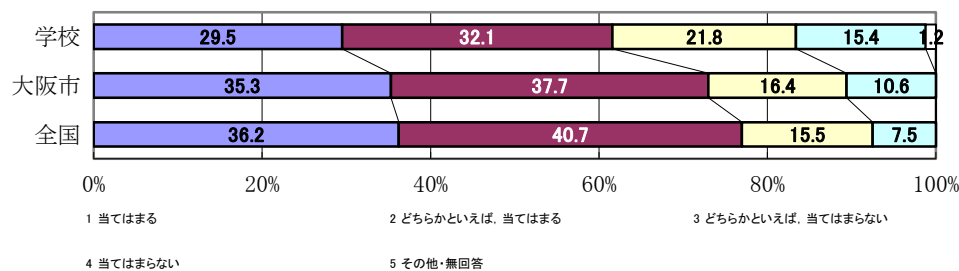
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしますか



6

自分には、よいところがあると思いますか



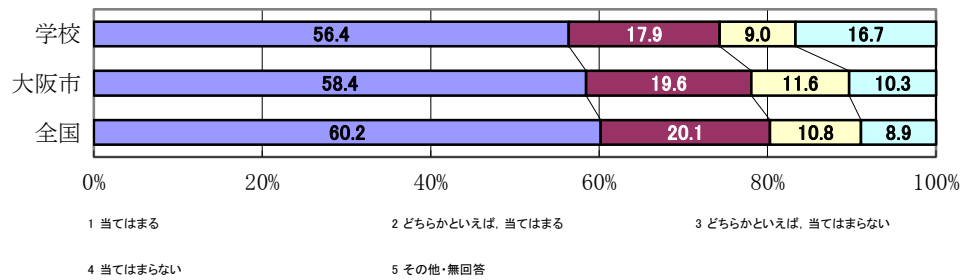
# 児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

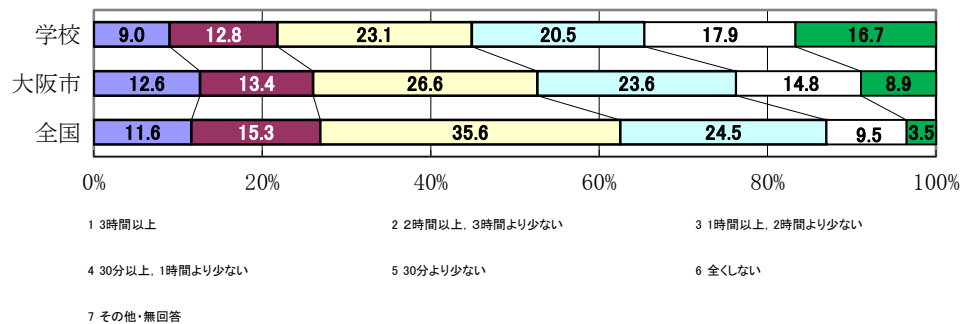
7

将来の夢や目標を持っていますか



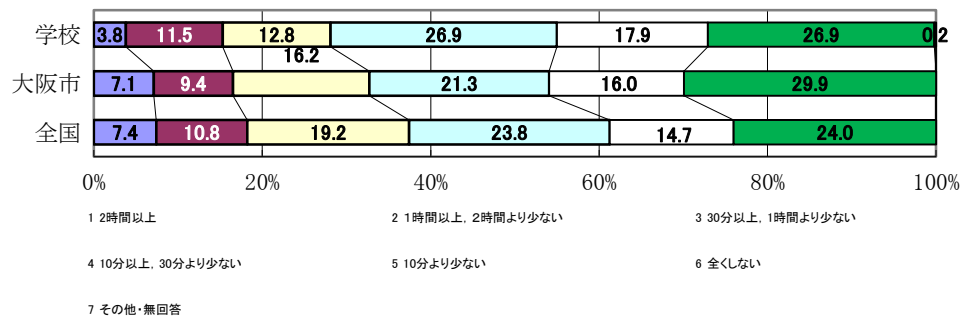
18

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）



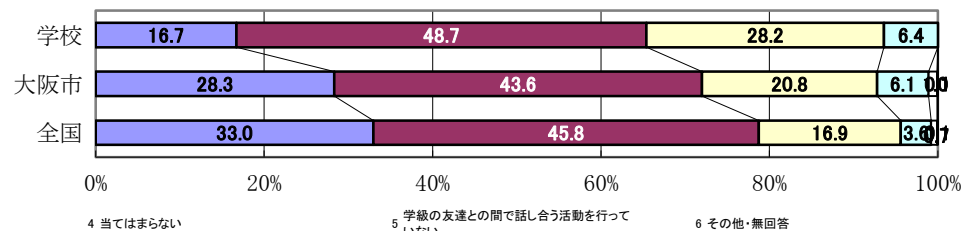
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



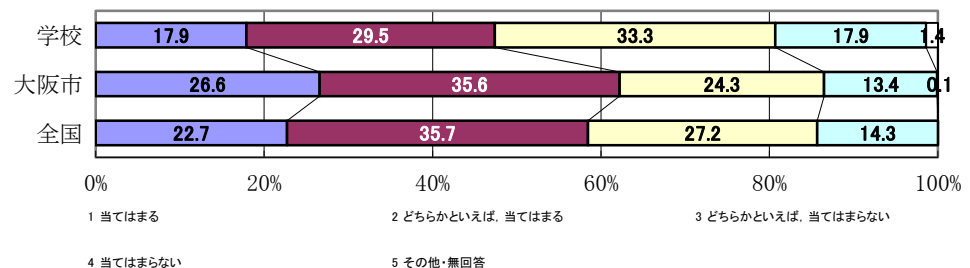
37

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



43

国語の勉強は好きですか



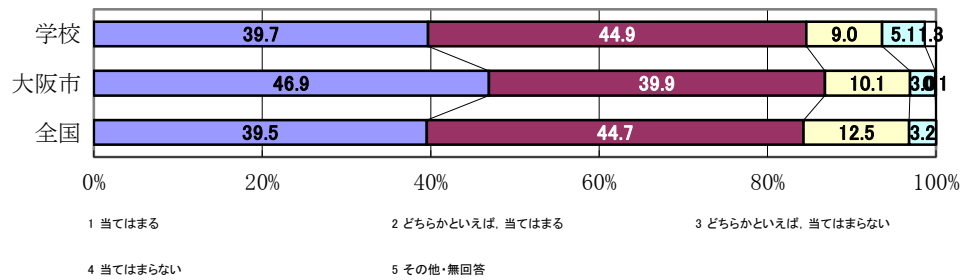
# 児童質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号  
質問事項

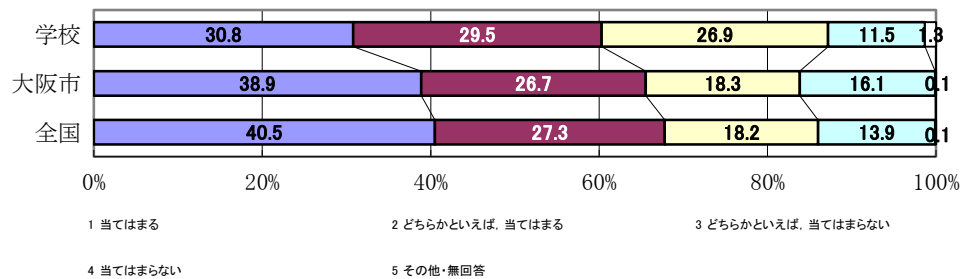
45

国語の授業の内容はよく分かりますか



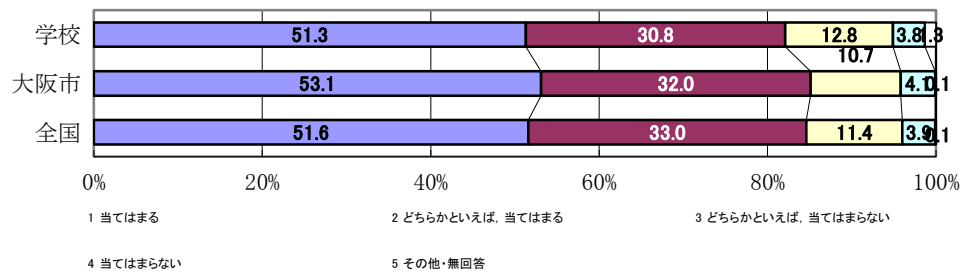
52

算数の勉強は好きですか



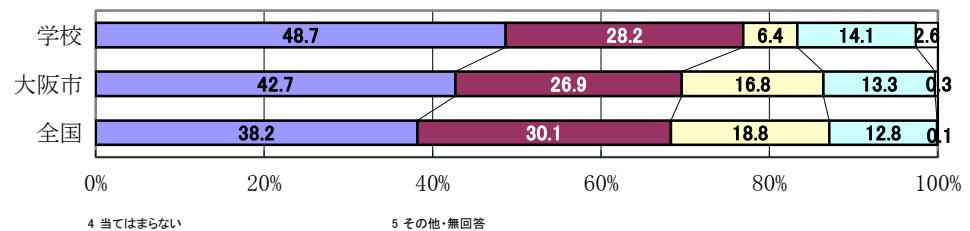
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



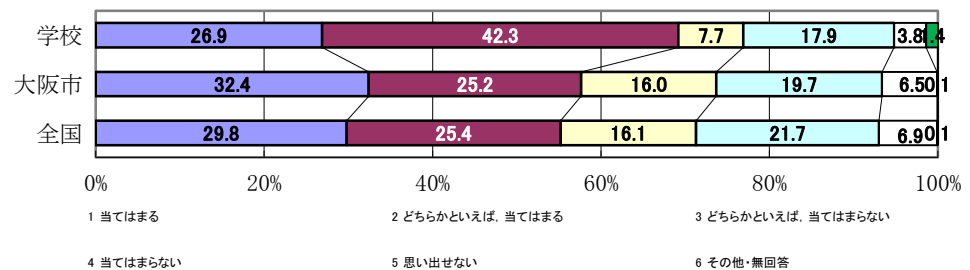
61

英語の勉強は好きですか



64

新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか



# 学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

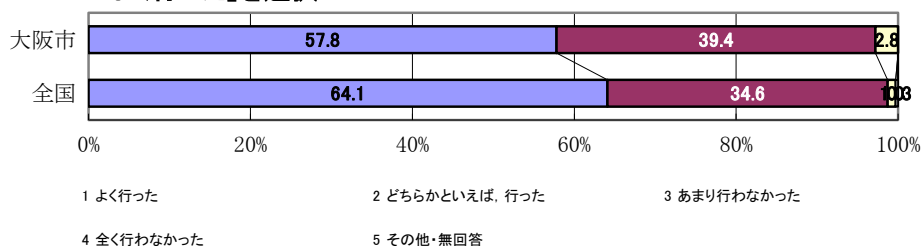
質問番号

質問事項

11

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

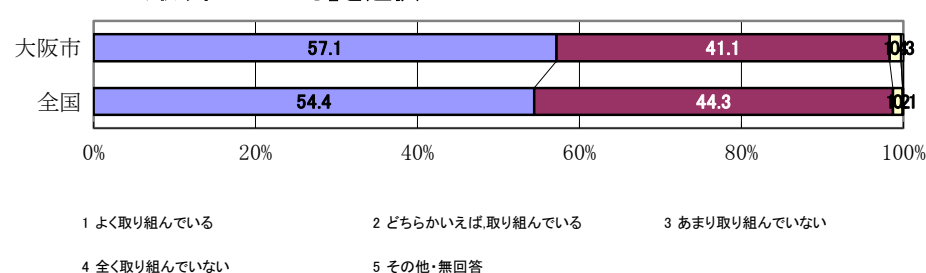
学校「よく行った」を選択



17

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

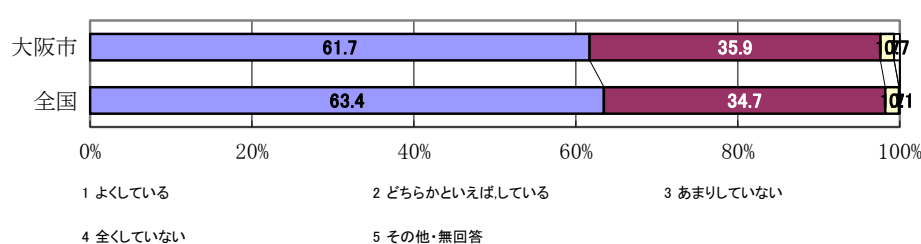
学校「よく取り組んでいる」を選択



23

授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

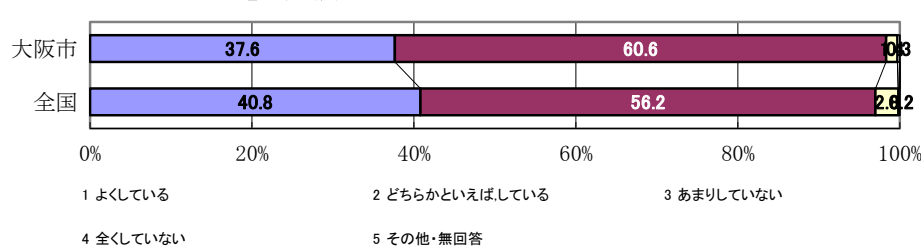
学校「よくしている」を選択



44

調査対象である児童に対して、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

学校「よくしている」を選択



老

48

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか

学校「よく行った」を選択

